

平成 29 年 9 月市議会定例会
副市長認定議案説明

[説明者；樋口副市長]

平成 28 年度決算の認定議案につきまして、御説明申し上げます。

初めに、認定第 1 号 平成 28 年度 長野市一般会計、各特別会計決算の概要につきまして、御説明申し上げます。

今回、提案申し上げました決算は、平成 28 年度一般会計のほか、11 の特別会計、6 の財産区特別会計の合わせて 18 会計であります。

お手元の「平成 28 年度 長野市一般会計・特別会計決算書」の 1 ページと 2 ページにございます「平成 28 年度 長野市一般会計 特別会計 決算一覧表」を御覧いただきたいと存じます。

一般会計と各特別会計の収入済額の合計は 2,307 億 2,112 万 6,810 円、支出済額の合計は 2,263 億 1,918 万 2,522 円、実質収支額は 30 億 5,058 万 5,288 円となりました。

次に、一般会計の決算の概要につきまして申し上げます。

収入済額は 1,509 億 9,637 万 7,342 円、支出済額は 1,476 億 6,668 万 1,373 円、従いまして歳入歳出差引残額は 33 億 2,969 万 5,969 円となり、そのうち翌年度へ繰り越すべき財源となる 13 億 5,135 万 9,000 円を差し引きました実質収支額は、19 億 7,833 万 6,969 円でございます。

次に、特別会計の決算の概要につきまして申し上げます。

国民健康保険特別会計等の 11 の特別会計につきましては、下から 2 行目、特別会計を御覧ください。収入済額は 797 億 2,474 万 9,468 円、支出済額は 786 億 5,250 万 1,149 円、実質収支額は、10 億 7,224 万 8,319 円でございます。

各特別会計の決算額につきましては、決算規模の大きな 3 つの特別会計につきまして申し上げます。

特別会計の 1 番上の行、国民健康保険特別会計の収入済額は 412 億 3,553 万 2,658 円、支出済額は 411 億 2,374 万 2,276 円、実質収支額は 1 億 1,179 万 382 円でございます。

中ほどの、介護保険特別会計の収入済額は 322 億 5,502 万 7,243 円、支出済額は 313 億 4,777 万 9,957 円、実質収支額は 9 億 724 万 7,286 円でございます。

下から 5 行目の、後期高齢者医療特別会計の収入済額は 46 億 7,762 万 9,414 円、支出済額は 46 億 7,162 万 7,883 円、実質収支額は 600 万 1,531 円でございます。

続きまして、財産区特別会計の決算の概要について申し上げます。

お手元の「平成 28 年度 長野市各財産区特別会計 歳入歳出決算書」の 1 ページを御覧いただきたいと存じます。

松代財産区につきましては、歳入決算額は 194 万 9,517 円、歳出決算額は 149 万 5,555 円、実質収支額は 45 万 3,962 円でございます。

次に6ページを御覧ください。豊栄財産区につきましては、歳入決算額は22万1,304円、歳出決算額は1万7,020円、実質収支額は20万4,284円でございます。

次に10ページを御覧ください。西寺尾本郷財産区につきましては、歳入決算額は54万7,604円、歳出決算額は39万4,229円、実質収支額は15万3,375円でございます。

次に14ページを御覧ください。今井財産区につきましては、歳入決算額は69万9,072円、歳出決算額は49万9,552円、実質収支額は19万9,520円でございます。

次に19ページを御覧ください。信級財産区につきましては、歳入決算額は55万1,403円、歳出決算額は5万9,890円、実質収支額は49万1,513円でございます。

次に23ページを御覧ください。日原財産区につきましては、歳入決算額は28万5,877円、歳出決算額は3万7,080円、実質収支額は24万8,797円でございます。

以上、平成28年度長野市一般会計・特別会計並びに各財産区特別会計の決算の概要について御説明申し上げましたが、詳細につきましては、各会計の決算書のほか、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書等を御参照いただきたいと思います。

続きまして、認定第2号平成28年度長野市各公営企業会計決算のうち、私から、長野市産業団地事業会計及び戸隠観光施設事業会計の決算の概要につきまして、御説明申し上げます。

初めに、長野市産業団地事業会計決算の概要について申し上げます。

お手元の「平成 28 年度 長野市産業団地事業会計決算書」の 11 ページを御覧いただきたいと存じます。

収益的収入及び支出のうち、収入の産業団地事業収益につきましては、予算額 9 億 3,300 万円に対しまして、決算額は 6 億 4,721 万 1,916 円となりました。

また、支出の産業団地事業費用につきましては、予算額 10 億 3,700 万円に対しまして、決算額は 6 億 47 万 2,520 円となり、この結果、13 ページの損益計算書に記載のとおり、4,673 万 9,396 円の純利益が生じたところであります。

12 ページを御覧ください。

次に、資本的収入及び支出について申し上げます。

資本的収入につきましては、予算額 1 億 8 千万円に対しまして、決算額は 1 億 2 千万円となりました。

また、資本的支出につきましては、予算額 11 億 9,600 万円に対しまして、決算額は 6 億 332 万 3,348 円となりました。

この結果、4 億 8,332 万 3,348 円の不足額が生じたところであります。

この不足額につきましては、過年度分損益勘定留保資金 2 億 3,224 万 8,331 円及び現年度分損益勘定留保資金 2 億 5,107 万 5,017 円で補填いたしました。

次に、長野市戸隠観光施設事業会計決算の概要について申し上げます。

お手元の「平成 28 年度 長野市戸隠観光施設事業会計決算書」の 9 ページを御覧いただきたいと存じます。

収益的収入及び支出のうち、収入の観光施設事業収益につきましては、予算額

7,805万9千円に対しまして、決算額は7,646万2,091円となりました。

また、支出の観光施設事業費用につきましては、予算額1億1,552万7千円に対しまして、1億744万7,069円となりました。

この結果、10ページの損益計算書に記載のとおり、収入支出決算額から、それぞれ消費税及び地方消費税を除きまして、3,236万4,615円の純損失が生じたところであります。

この当年度純損失に前年度からの繰越欠損金5億6,513万9,100円を合わせた、当年度未処理欠損金5億9,750万3,715円は、全額、翌年度繰越欠損金として処理するものでございます。

もう一度、9ページを御覧ください。

次に、資本的収入及び支出について申し上げます。

資本的収入につきましては、予算額1億4,937万3千円に対しまして、決算額は1億3,763万8,665円となりました。

資本的支出につきましては、予算額1億4,937万3千円に対しまして、決算額は1億3,764万2,665円となりました。

なお、1,073万4,120円は翌年度に繰り越すものでございます。

この結果、4千円の不足額が生じたところであります。

この不足額につきましては、過年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額から、全額補填いたしました。

以上、平成28年度 長野市産業団地事業会計及び戸隠観光施設事業会計の決算の概要について御説明申し上げましたが、詳細につきましては、各会計の決算報告書のほか、損益計算書、剰余金計算書又は欠損金計算書、剰余金処分計算書(案)又は

欠損金処理計算書、貸借対照表、事業報告書及び財務諸表附属明細書を御参照いただきたく存じます。

何とぞ十分御審議の上、御認定を賜りますようお願い申し上げます。